01\_種別

【02\_タイトル（和）】

【03\_副題（和）】

【04\_著者（和）】\*和文著者名は採択後の最終原稿で記載

【05\_タイトル（英）】

【06\_副題（英）】

【07\_著者（英）】  
英文著者名は採択後の最終原稿で記載

**要旨**：【08\_要旨（和）】英文と同内容を記載○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

**キーワード**：【09\_キーワード（和）】英文と同内容を記載，○○○○，○○○○，○○○○，○○○○

**SUMMARY:** 【10\_要旨（英）】This journal uses double-blind review, which means that author identities are concealed from the reviewers, and vice versa, throughout the review process. A blinded manuscript should be prepared. Manuscripts of research articles, research notes, and review articles should be accompanied with an English summary of approximately 100 words.

**Key words:** 【11\_キーワード（英）】5 to 8 keywords, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○, ○○○○○

1.　【21\_見出し1】

【24\_本文】本テンプレートは，音声研究投稿のために作成したものです。

投稿原稿の長さは，研究論文及び書評論文の場合，注，表，図，参考文献を含めて刷り上がり14ページ以内，短信・情報は刷り上がり4ページ以内となります。その他の種別の原稿は短いほど望ましいです。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

\* 【45\_脚注】和文および英文所属は採択後の最終原稿で記載

\*\* ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

1.1　【22\_見出し2】

1.1，1.2，2.1のように書いてください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 表1　【41\_表　タイトル】 | | | | |
| 【42\_表　本文】 | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ |
| ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ |
| ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ |
| ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ | ○○○○○○○○○ |

全段図面

図1　【43-図　タイトル】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2.　【21\_見出し1】

2.1　【22\_見出し2】

本文中の図表の参照位置近くに図表を貼り付けてください。図のタイトルは図の下に，表のタイトルは表の上に記載してください。図表のサイズは，横70mm未満で片段配置，70mm以上140mm以下で全段配置となります。また，図面は提出された図面を加工せずにそのまま使用しますので，印刷した際に図中の文字が読めるように作成してください。

片段図面

図2　【43\_図　タイトル】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

2.1.1　【23\_見出し3】

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

|  |  |
| --- | --- |
| 表2　【41\_表　タイトル】 | |
| 【42\_表　本文】 | ○○○○○ |
| ○○○○○ | ○○○○○ |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3.　【21\_見出し1】

本文中で言及した文献は，参考文献として論文の文末に記載してください。その際，文献は使用言語にかかわらずアルファベット順に並べ，以下の例のように示してください。参考文献は，本文中に引用している文献のみを記載してください。本文中の引用の仕方を含め，詳細については投稿規程を参照してください。

自身の先行研究を引用する場合は，筆者の匿名性を担保するために，それが自身の研究であることを示す表現は避け，第三者の文献と同様に扱ってください。自身の先行研究を伏字にすることは，査読者が当該文献にアクセスすることができなくなるので避けてください。なお，謝辞や付記では個人が特定できる情報を伏字にするか，掲載を省略してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

謝辞【31\_謝辞　見出し】

【32\_謝辞　本文】投稿時，科研費番号など著者が特定できる可能性のある情報は伏字にしてください。

〔付記〕【33\_付記　見出し】

【34\_付記　本文】投稿時、口頭発表に関する発表先など著者が特定できる可能性のある情報は伏字にしてください。

〔注〕【35\_注　見出し】

1）【36\_注　本文】注は脚注とはせず，本文中に通し番号を付し，本文の末尾にまとめて記載してください。

2）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

3）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

参考文献【37\_文献　見出し】

【38\_文献　本文】○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

Haraguchi, Shosuke (1988) “Pitch accent and intonation in Japanese.” In Harry van der Hulst and Norval Smith (eds.) *Autosegmental Studies on Pitch Accent*, 123–150. Dordrecht: Foris.

Haraguchi, Shosuke (1991) *A Theory of Stress and Accent*. Dordrecht: Foris.

平山輝男・大島一郎・中本正智（1966）『琉球方言の総合的研究』明治書院．

Kiritani, Shigeru, Kenji Itoh and Osamu Fujimura (1975) “Tongue-pellet tracking by a computer-controlled X-ray microbeam system.” *Journal of the Acoustical Society of America* 57(6), 1516–1520.

国立国語研究所『X線映画日本語の発音』ムービー版，http://www6.ninjal.ac.jp/x-sen（2025年3月26日最終参照）

National Institute for Japanese Language and Linguistics. “A cineradiography of Japanese pronunciation.” https://mmsrv.ninjal.ac.jp/x-sen/ (accessed March 26, 2025)

杉藤美代子（1989）「談話におけるポーズとイントネーション」杉藤美代子（編）『講座日本語と日本語教育2―日本語の音声・音韻（上）』343–364，明治書院．

杉藤美代子（1996a）『日本人の英語（日本語音声の研究 2）』和泉書院．

杉藤美代子（1996b）『日本語の音（日本語音声の研究 3）』和泉書院．

上野善道（1997）「私のアクセント理論―フィールドワーカーの視点―」『音声研究』1(2), 28–36.